図書館だより

3月

令和4年3月発行
栃木県立宇都宮南高校図書委員
担当：1の7、1の8

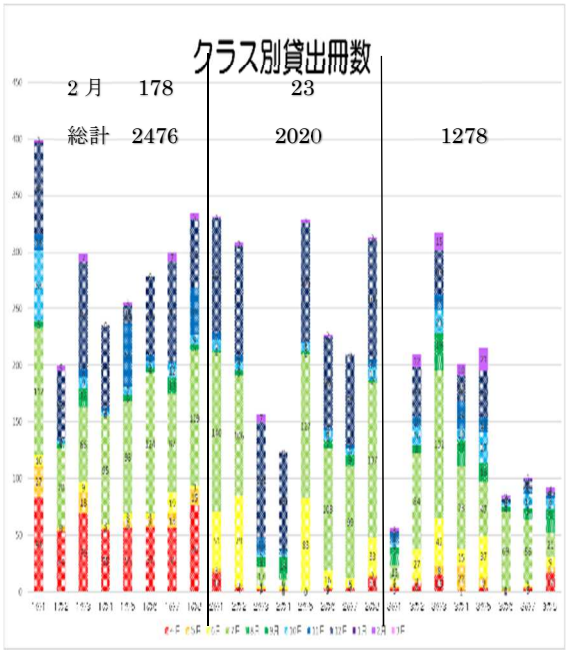
まだ寒い日もありますが、そろそろ花のつぼみもほころびはじめ、今年度をしめくくる月となりました。

３月は別れの月ですが、新しい出会いを待ちながら、１年間をふりかえり、自分の成長を確かめるときでもあります。心の友となるような本と出会えたでしょうか。図書館は読書センターだけでなく、学習・情報センターでもあります。自分の興味・関心のあることや進路について、ネットでは得られない情報を得ることもできます。是非図書館を利用してください。

１年の締めくくりとなるような、心に残る本をみつけてみませんか。

２月クラス別貸出冊数

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	合計	前年比
1年	54	0	10	4	62	0	3	45	178	-224
2年	2	0	9	3	0	1	3	5	23	-7
合計									201	-231



４月～２月クラス別貸出冊数

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	合計	昨年比
1年	452	200	308	239	318	278	302	379	2476	+356
2年	333	308	166	126	329	228	212	318	2020	+1378
3年	56	210	317	201	216	85	101	92	1278	-469
合計									5774	+1265

春季特別貸出

貸出期間：3月14日(月)～24日(木)
貸出冊数：ひとり5冊まで
返 却 日：4月8日(金)

※返却期限が過ぎている本を借りたままの人は、
春休みの前に返して、気持ちよく新学年を迎えましょう。

今借りている本を春休みの本として借りたい場合には、延長を申し出てください。

３月といえば卒業

担当：１－７



「僕たちと駐在さんの７００日戦争　１４」　ママチャリ：著

時は１９７０年代。
田舎町に住むヤンチャで無茶でワンパクな男子高校生と町の駐在さんがイタズラ合戦を繰り広げていた。

ブログから映画まで話題の「ぼくちゅう」シリーズの小説版。
今回は３月と言うことで卒業系をご紹介します。

他にもシリーズがあるのでぜひ読んでいただきたいです。



「僕とおじいちゃんと魔法の塔　１」　香月　日輪：著

今回紹介するのは少し変わった「卒業」のお話。

―龍神はどこにでもいるような普通の小学生。
両親の言うことをよく聞き、「立派」な大人になる。
両親はいつでも正しい、逆らうなんてもってのほか。
―本当にそれでいいの？―
そんな疑問を押さえつけていた。　あの人に会うまでは…。

小学５年生の龍神が今までの常識から「卒業」する物語。

続きもあるのでぜひ読んでいただきたいです。



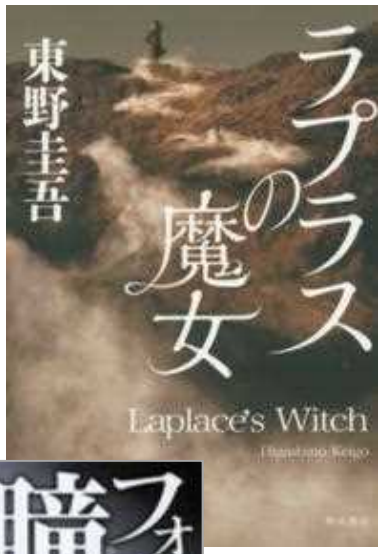
「僕は上手にしゃべれない」　椎野　直弥：著

うまくしゃべることが出来ない吃音という障害をもつ
主人公の柏崎悠太は放送部に入ることとなってしまった。
そこからしゃべり方の猛練習をした。
最後には大会に出ることとなって…。

うまくコミュニケーションがとれないかたにおすすめです。

映画化された本

担当：１－８



「ラプラスの魔女」　　東野 圭吾：著

始まりは一人の少女だった。
同時期に起こった遠い二つの温泉地での謎の死亡事故。
人には到底解明できない事件が紐解かれていく興奮。
価値観が覆された衝撃に身を任せてみてください。



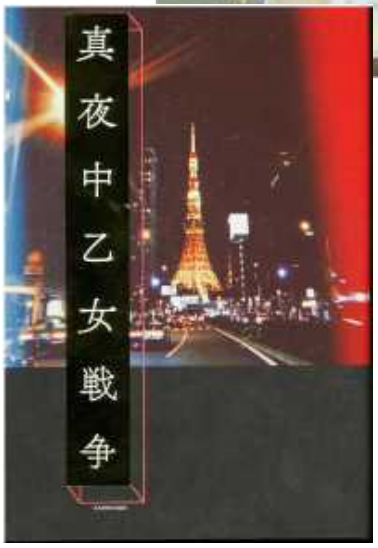
「フォルトゥナの瞳」　　百田 尚樹：著

幼少期に飛行機事故で家族を失った男。
死を目の前にした人間が「透けて見える」という不思議な
能力を宿した青年と死の運命に導かれたヒロインが織りなす
恋の行方は…。



「余命 10 年」　小坂 流加：著

二十歳で不治の病にかかりもう恋はしないと決めた余命 10 年の
主人公茉莉。
生きることに迷い、自分の居場所を見失った和人。
同窓会で再会した二人は惹かれあい、ありふれた毎日が嘘のように
輝き出す。思い出の数だけ失われていく時間…。



「真夜中乙女戦争」　　Ｆ：著

大学進学で上京した一人の青年。
孤独で憂鬱な日々はある二人の男女と出会い、変わっていく。
そして、「真夜中乙女戦争」という計画に巻き込まれてしまう。